

テーマ: 新入職員の育成方法

今年も多くの職員が入職してくる。どうすれば、働きがいを持って勤めてくれるだろうか？



何より大切なのは、職員を育てるということ。そのためには、①技術の習得と、②働きがいの向上の2つがある、ということです。しかも新人のうちは、技術よりも意欲を高めることが重要です！



- (1) 意欲があれば成長も速いです。とにかく本人が大事だと思うことを尊重して、学ばせたり実践させると、「この職場には、自分自身を成長させることができる何かがある！」と実感するとさらに意欲的になれます。
- (2) 技術の習得は焦らず、丁寧に進めましょう。

なお、中途採用のスタッフには、最初に、自院の方針やルールをきちんと伝えておくことが重要です。後からどんなに「実はこうしてほしい」と言っても真意は伝わりません。また、他院で学んだ良い技術を尊重して、現場でも活かしてもらえると、病院にとっても得ることが多いです。



◆◆ 注意 ◆◆

新入職員は、一度教わったことかどうかも含めて、確認したいということもあります。そのため、「それ、一度教えたよね」と言うような対応は危険です。新入職員が、聞きたいことさえ、萎縮して聞けなくなってしまいます。

★★ ワンポイントアドバイス ★★

- 【教育係】複数の職員がそれぞれの方法で教育すると、新人は混乱します。そこで、主たる教育係を一人決めて、まず、数ヶ月間はそのスタッフから、職員として必要なことを基本にして、技術の習得をさせるようにしましょう。
- 【聞くこと】育成というと教えることと考えがちですが、大事なことは、「今日どうだった？」「なにか気になることはある？」と聞くことです。「気にしてもらっている」という実感が本人にあると、頑張れるものです。また、本人の心境もわかることで、初めて適切なケアやサポートをすることができるのです。



無料

お困りのことやご不明な点などがございましたらお気軽にご相談ください！
社会保険労務士と医業経営コンサルタントがアドバイスいたします(秘密厳守)。



東京都医療勤務環境改善支援センター随時相談窓口

☎ 03-6272-9345 (平日 9時30分から 17時30分まで)

詳細はこちらから検索！ ⇒

勤務環境かいぜんサポートナビ